

令和7年度

「運営に関する計画」  
(最終評価)

大阪市立墨江幼稚園

令和8年3月

## 1 学校運営の中期目標

### 現状と課題

○4歳児5歳児が単学級、2クラスの小規模園である。子どもたちは、自分の思いを自分なりに表現し、進んで体を動かして遊ぶ姿が見られる。一方で、自分で考えて行動したり、思いを伝え合ったりする経験が少なく、人と関わる機会が少ないような傾向が見られる。このようなことから、幼児が初めて経験する集団生活において、心身共に安心安全な環境の中で主体的に遊び、自分の思いを伸び伸びと表現する幼児を育むための指導の在り方について考えていきたい。また、幼児の生活の中に様々な物や情報があふれている現状から、幼児期にふさわしい様々な体験を通して育まれることの大切さを考えながら、豊かな感性を育み、自分も他者も大切にできるような子どもを育てられるような指導の工夫をしていきたい。そして、地域で育つ子どもたちの健全育成に向けて、本園の特色を生かしたふれあい活動や地域との連携を積極的に行うことを課題として取り組む。

### 中期目標

#### 【安全・安心な教育の推進】

##### 基本的な方向1（安全・安心な教育環境の実現）

○令和7年度末の本園保護者アンケート調査で、「幼稚園では、安全に過ごすための環境構成や教育内容を工夫している」という項目において、肯定的な回答をする割合を90%以上にする。

##### 基本的な方向2（豊かな心の育成）

○令和7年度末の本園保護者アンケート調査で、「幼稚園では、幼児一人一人の個性を大切にし、互いを認め合える教育活動を実践している」という項目において、肯定的な回答をする割合を90%以上にする。

#### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

##### 基本的な方向3（幼児教育の推進と質の向上）

○令和7年度末の本園保護者アンケート調査で、「幼稚園では、友達と伝え合い、試したり工夫したりする楽しさを味わう中で、自ら考えようとする子どもを育むための指導を行っている」という項目において、肯定的な回答をする割合を90%以上にする。

##### 基本的な方向4（誰一人取り残さない学力の向上）

○令和7年度末の本園保護者アンケート調査で、「子どもは、いろいろな経験を通して、自分なりに表現することを楽しんでいる」という項目において、肯定的な回答をする割合を90%以上にする。

##### 基本的な方向5（健やかな体の育成）

○令和7年度末の本園保護者アンケート調査で、「幼稚園では、健康な生活習慣を身に付けるような指導を行っている」という項目において、肯定的な回答をする割合を90%以上にする。

### **【学びを支える教育環境の充実】**

#### **基本的な方向 6（教育 DX の推進）**

○令和 7 年度末の本園保護者アンケート調査で、「子どもは、様々なことに興味や関心をもつようになった」という項目において、肯定的な回答をする割合を 90%以上にする。

#### **基本的な方向 7（人材の確保・育成としなやかな組織づくり）**

○令和 7 年度末の教職員アンケート調査で、「キャリアステージに応じた研修に参加し、保育に生かすことができた」という項目において、肯定的に回答する教職員の割合を令和 3 年度より 5 ポイント増加させる。

#### **基本的な方向 8（生涯学習の支援）**

○令和 7 年度末の本園保護者アンケート調査で、「子どもは、絵本に興味や関心をもつようになった」という項目において、肯定的な回答をする割合を 90%以上にする。

#### **基本的な方向 9（家庭・地域等と連携・協働した教育の推進）**

○令和 7 年度の本園保護者アンケート調査で、「幼稚園では、家庭や地域との連携を積極的に行っている」という項目において、肯定的な回答をする割合を 90%以上にする。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

### 学校園の年度目標

#### 基本的な方向1（安全・安心な教育環境の実現）

○令和7年度末の本園保護者アンケート調査で、「幼稚園では、安全に過ごすための環境構成や教育内容を工夫している」という項目において、肯定的な回答をする割合を90%以上にする。

#### 基本的な方向2（豊かな心の育成）

○令和7年度末の本園保護者アンケート調査で、「幼稚園では、幼児一人一人の個性を大切にし、互いを認め合える教育活動を実践している」という項目において、肯定的な回答をする割合を90%以上にする。

#### 基本的な方向3（幼児教育の推進と質の向上）

○令和7年度末の本園保護者アンケート調査で、「幼稚園では、友達と伝え合い、試したり工夫したりする楽しさを味わう中で、自ら考えようとする子どもを育むための指導を行っている」という項目において、肯定的な回答をする割合を90%以上にする。

#### 基本的な方向4（誰一人取り残さない学力の向上）

○令和7年度末の本園保護者アンケート調査で、「子どもは、いろいろな経験を通して、自分なりに表現することを楽しんでいる」という項目において、肯定的な回答をする割合を90%以上にする。

#### 基本的な方向5（健やかな体の育成）

○令和7年度末の本園保護者アンケート調査で、「幼稚園では、健康な生活習慣を身に付けるような指導を行っている」という項目において、肯定的な回答をする割合を90%以上にする。

#### 基本的な方向6（教育DXの推進）

○令和7年度末の本園保護者アンケート調査で、「子どもは、様々なことに興味や関心をもつようになった」という項目において、肯定的な回答をする割合を90%以上にする。

#### 基本的な方向7（人材の確保・育成としなやかな組織づくり）

○令和7年度末の教職員アンケート調査で、「キャリアステージに応じた研修に参加し、保育に生かすことができた」という項目において、肯定的に回答する教職員の割合を令和6年度よりもポイントを増加させる。

#### 基本的な方向8（生涯学習の支援）

○令和7年度末の本園保護者アンケート調査で、「子どもは、絵本に興味や関心をもつようになった」という項目において、肯定的な回答をする割合を90%以上にする。

#### 基本的な方向9（家庭・地域等と連携・協働した教育の推進）

○令和7年度の本園保護者アンケート調査で、「幼稚園では、家庭や地域との連携を積極的に行っている」という項目において、肯定的な回答をする割合を90%以上にする。

## 3 本年度の自己評価結果の総括

本年度の幼稚園運営や保護者アンケート結果の全体を通して、中期目標達成に向けた3つの年度目標において、概ね達成することができた。子どもが安心して幼稚園生活を楽しむことができるように、教職員が毎日打ち合わせを重ね、連携を取り、一人一人の育ちを見守ったことで、子どもたちが生き生きと幼稚園生活を楽しむ姿につながった。子どもの個性を受け止め、家庭や関係機関との情報交換を密にし、全教職員で共通理解を深めた成果である。

次年度は今年度の成果と課題を受け、子どもの実態を把握し、保育内容を工夫するとともに、更に教職員で密に連携を図り、一人一人の子どもの豊かな育ちにつなげたい。

大阪市立墨江幼稚園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>学校園の年度目標</b> <b>基本的な方向1（安全・安心な教育環境の実現）</b> ○令和7年度末の本園保護者アンケート調査で「幼稚園では、安全に過ごすための環境構成や教育内容を工夫している」という項目において、肯定的な回答をする割合を90%以上にする。 <b>基本的な方向2（豊かな心の育成）</b> ○令和7年度末の本園保護者アンケート調査で、「幼稚園では、幼児一人一人の個性を大切にし、互いを認め合える教育活動を実践している」という項目において、肯定的な回答をする割合を90%以上にする。	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<b>取組内容①【安全・安心な教育環境の実現】</b> 子どもが安全に過ごせるような環境づくりに努め、安全な生活に対する意識が高まるような指導を行う。 指標・安全点検（毎日・毎月）を行い、環境整備を行う。 ・災害を想定した避難訓練を、年5回以上行う。 ・保護者への啓発を行う。	A
<b>取組内容②【豊かな心の育成】</b> 子ども一人一人が過ごしやすい園生活を送り、互いのよさや個性を認め合えるようにする。 指標・幼児理解や手立てのための検討会を毎日行い、今後につなげる。 ・個別の指導計画・支援計画を立て、学期ごとに見直し、教職員間で検討する。 ・保護者の願い、思いを聞き、継続して話し合う機会をもち、支援方法を考える。	A

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<b>取組内容①について</b> ◎令和7年度末の本園保護者アンケート調査で「幼稚園では、安全に過ごすための環境構成や教育内容を工夫している」という項目において、肯定的な回答をする割合は100%となり、中期目標及び年度目標を達成できた。 ・子どもたちが安全に過ごせるように、毎日と月一回点検簿をもとに必ず実施した。異常が見つかった時はすぐに報告し、全教職員での共有を行い、対処方法を考え、改善した。

- ・1年間を通して子どもの行動パターンなどを把握し、子どもの目線を意識しながら、危険な場所がないか点検を行った。
- ・園庭整備も学期に1回以上行い、園庭の点検、側溝掃除や雑草除去、石拾いなども同時に行った。長期休業後は、より丁寧に安全点検を行い、安全に過ごせる環境を整えた。
- ・災害を想定した避難訓練を年10回行った。(4月:火災 5月:火災・引き渡し訓練 6月:地震・津波 9月:地震・津波 10月:火災 11月:防犯 12月:地震 1月:地震 2月:火災 3月:地震)避難訓練を実施するにあたり、災害時の一人一人の子どもの様子や行動を予測し、色々なパターンを想定しながら打ち合わせをしたことで、避難訓練時の教職員の動きが明確になり、落ち着いて対応することができた。クラスで事前、事後指導を行い、災害時の行動の仕方や避難訓練の大切さを理解して、取り組むことができた。
- ・年3回(8月・9月・1月)預かり保育中に火災・地震・地震後火災が起こったと想定した避難訓練を実施した。保育中以外でもいつ災害が起こっても対応できるように教職員の行動を精査し、預かり指導員との連携も再確認した。
- ・保護者への啓発として、避難訓練を行った日の降園連絡等を活用して、避難訓練の様子を話し、幼稚園の取組を伝えるとともに家庭でも災害時について話合う機会をもってらえるように促し、災害への意識を高めた。
- ・今年度、全国で地震が多発していたこともあり、地震の避難訓練を多く実施し、常に緊張感をもって実施することができた。
- ・教職員間で災害時を想定した話し合いを定期的に行い、必要な備品の追加購入や非常袋の中身の整理、置き場所の見直しを行った。
- ・3学期においては、無予告で行い、今まで実施した避難訓練の経験を活かして、子どもたち自身が考えて行動できるようにした。

## 取組内容②

- ◎令和7年度末の本園保護者アンケート調査で「幼稚園では、幼児一人一人の個性を大切に、互いを認め合える教育活動を実践している」という項目において、肯定的な回答をする割合は100%となり、中期目標及び年度目標を達成できた。
- ・毎日の打合せの中で、子どもの姿や変化を職員間で共有し共通理解を深める機会を確保した。
- ・個別指導計画・支援計画を立て、巡回相談や指導研修を受け、発達や特性に応じて個々の支援方法を検討し、保育の中に取り入れることで支援を要する子どもたちの安定した園生活につながった。
- ・保護者との対話を重視し、子どもへの理解を深めるための聞き取りや面談を丁寧に行ってきた。内容によっては即時保育に活かすための話し合いや情報の共有に努めてきた。家庭との連携を密にしたことで、生活発表会などの行事に子どもがより安心して参加する姿につながった。
- ・個々に応じた支援の充実を図るため保護者同意の元、住吉区子育て相談室や療育施設、小学校など関係機関との連携を図った。ケース会議、保育所等訪問事業など関係諸機関との連携機会を多くもち、支援方法を学んだり支援の方向性を確認し合うことで、共に進めていくよう努めた。

## 次年度の改善点

### 取組内容①について

- ・来年度も起こり得る災害時の状況を想定し、それに対応できるような避難訓練を計画する。
- ・子ども自身が安全に関する意識を高められるような指導法を工夫する。
- ・避難訓練を慣れ合いのものにせず、常に危機感をもって実施できるようにする。
- ・その時の状況に応じて、訓練頻度や内容を考え直し、突然の災害に備えるようにする。

### 取組内容②について

- ・保護者と話す機会を心がけてもつようにし、安心して話せる関係づくりに継続して取り組む。
- ・支援計画の個別化や柔軟性を高めるために、一人ひとりの成長と変化に応じて、計画を適時見直し、一人一人の子どもに沿った支援体制を整える。
- ・関係機関との連携に引き続き取り組み、情報共有していく。
- ・教職員間で情報共有と支援方法の統一を図り、ぶれない支援、継ぎ目のない支援を目指し連携体制を強化する。

大阪市立墨江幼稚園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>学校の年度目標</b></p> <p><b>基本的な方向3（幼児教育の推進と質の向上）</b></p> <p>○令和7年度末の本園保護者アンケート調査で「幼稚園では、友達と伝え合い、試したり工夫したりする楽しさを味わう中で、自ら考えようとする子どもを育むための指導を行っている」という項目において、肯定的な回答をする割合を90%以上にする。</p> <p><b>基本的な方向4（誰一人取り残さない学力の向上）</b></p> <p>○令和7年度末の本園保護者アンケート調査で、「子どもは、いろいろな経験を通して、自分なりに表現することを楽しんでいる」という項目において、肯定的な回答をする割合を90%以上にする。</p> <p><b>基本的な方向5（健やかな体の育成）</b></p> <p>○令和7年度末の本園保護者アンケート調査で、「幼稚園では、健康な生活習慣を身に付けるような指導を行っている」という項目において、肯定的な回答をする割合を90%以上にする。</p>	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①【幼児教育の推進と質の向上】</b></p> <p>就学前教育カリキュラムや世界を拓くなにわっ子、幼稚園教育要領を基に、本園の実態を踏まえ、教育課程、長期の指導計画の見直し、主体的な子どもを育むための保育内容を工夫する。</p> <p>指標・教育課程・長期の指導計画の見直しをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的な子どもを育めるよう、保育内容を振り返ったり、環境の再構成を行ったりして、日々の保育内容や子どもの育ちを保護者へ啓発する。</li> </ul>	A
<p><b>取組内容②【誰一人取り残さない学力の向上】</b></p> <p>自分なりに表現することを楽しめるよう、実態に応じた活動や遊びを工夫する。</p> <p>指標・表現する楽しさを味わえるような活動内容や環境を毎週見直す。</p>	A
<p><b>取組内容③【健やかな体の育成】</b></p> <p>健康な生活習慣が身に付くよう、年間を通して保健指導を行う。</p> <p>指標・子どもの発達段階や実態に合わせた生活習慣に関する保健指導を年6回以上行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、保健指導などの取組を保護者に知らせる。</li> </ul>	A
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>取組内容①について</p> <p>○令和7年度末の本園保護者アンケート調査で「幼稚園では、友達と伝え合い、試したり工夫したりする楽しさを味わう中で、自ら考えようとする子どもを育むための指導を行っている」という項目において、肯定的な回答をする割合は100%となり、中期目標及び年度目標を達成できた。</p>	

- ・教育課程・長期の指導計画をもとに保育の見直しを行い、子どもの実態を把握し保育内容を工夫したことで、一人一人が安心して幼稚園に通い、園生活を楽しむことができた。進級当初5歳児は、4歳児の世話やあいさつ当番などを通して、年長児としての意識を高めながら過ごすことができた。2学期には、運動会に向けてクラスで話し合う中で、考えたり工夫したりし運動会を自分たちで進めていくことができた。当日は、友達と一つの目標に向かって活動する喜びややり遂げる達成感を味わい、大きな自信をもつことができた。3学期には、劇遊びや合奏を通して、一人一人が役割を責任をもって取り組み、力を合わせてクラスの作品をつくり上げる達成感を味わうことができた。入園当初4歳児は、不安な気持ちが大きかったが、教師との信頼関係が土台となり、安心して過ごせるようになった。また子どもが自分の思いを、言葉や態度などいろいろな形で表現し、その姿を教師が大切にしてきたことで、安心して自分の思いを表出し、教師や友達と一緒に遊ぶことを楽しむようになった。生活面でも自分でできることが増え、それが自信につながり、運動会ではのびのびと体を動かして遊ぶ姿を披露することができた。3学期に入り、友達と一緒に遊びたい気持ちがどんどん大きくなり、友達と思いを出し合いながら好きな遊びを楽しむようになった。
- ・毎月発行するクラスだよりでは、保育のねらいや教師の思い、子どもの様々な姿から読み取り、育ちや学びを保護者に伝えた。また、登降園時には、その日の保育について保護者に話し、日々遊びの中で学んでいる様子を感じてもらえるようにした。6月から月末の保育室降園を始め、子どもの作品を掲示したり歌を聞いてもらったりしながら、保護者に子どもやクラスの成長を実感してもらう機会にした。
- ・ホームページを週1回以上更新することで、園の様子や実際の子どもの姿をタイムリーに感じたり、保育の様子をイメージしたりしてもらえるようにした。
- ・2、3学期の始業式には、前学期の幼稚園の取組や子どもの様子、成長をパワーポイントを使って知らせた。写真を見ながら説明することで、幼稚園の取組をより分かりやすく伝えることができた。

#### 取組内容②について

- ◎令和7年度末の本園保護者アンケート調査で「子どもは、いろいろな経験を通して、自分なりに表現することを楽しんでいる」という項目において、肯定的な回答をする割合は100%となり、中期目標及び年度目標を達成できた。
- ・5歳児のごっこ遊びでは遊び場を遊戯室へ広げ、大型積み木を使って遊んだり、遊びに必要な物を自分でつくったりできるような場や材料を整えたことで、友達とイメージを伝え合い継続してごっこ遊びを楽しむことができた。4歳児は園外散歩に向けて自分の『お散歩バッグ』をつくったり、公園で見つけたタンポポになって表現遊びを楽しんだりして、園生活の中で教師や友達と遊ぶ楽しさを味わった。
  - ・週1回以上、教職員で保育内容の共通理解や見直しを行った。その時期に合わせた教材や保育環境を教職員みんなで見直すことで、どの子どもも安心して遊べる環境や時間を確保することができた。
  - ・5歳児は、子どもの興味や関心を週ごとに見直し、クラスみんなで取り組む活動を取り入れたり、新たな遊び場の設置、玩具の精選や入れ替えを行ったりした。そうすることで、一人ひとりが自分の好きな遊びに夢中になる姿や挑戦することを楽しむ姿につながった。運動会や作品展、生活発表会などの行事では、子どもたちが継続して遊んでいる日々の保育の中から取り組む内容を取り入れ工夫することで、様々な形で表現する楽しさを味わった。

- ・4歳児は、作品展で秋の木々や木の実、収穫物などを作り、表現遊びを楽しんだ。その経験が生活発表会の劇遊びへつながり、大道具や小道具として再利用し継続的に遊ぶことができた。また、お楽しみ会で楽器遊びを楽しんだことで、好きな遊びの中で楽器に触れる機会が増え、いろいろな曲に親しんだ。週案の振り返りを通して子どもの興味や表現の様子を捉え、次週の活動内容や環境構成に反映しながら、自分なりに表現する楽しさを味わえるよう工夫した。

#### 取組内容③について

◎令和7年度末の本園保護者アンケート調査で、「幼稚園では、健康な生活習慣を身に付けるような指導を行っている」という項目において、肯定的な回答をする割合が100%となり、中期目標及び年度目標を達成できた。

- ・子どもの実態に合わせた保健指導を毎月行い、基本的な生活習慣に関する保健指導を1学期に4回・2学期に3回・3学期に2回行った。(手洗い・うがい(清潔)・トイレについて(排泄)・歯みがき(清潔)・洗顔(清潔)・あさごはん(食育)・早寝早起き(睡眠)・食事について(食育)うんちについて(排泄))担任とも連携をとり、保健指導時だけでなく、その後のクラスでの声掛けなどで、指導した生活習慣を継続的に続けられるよう取り組んだ。
- ・保健指導後は、子どもたちが目にする場所に指導教材を掲示し、指導内容を振り返られるようにした。トイレスリッパの並べ方の掲示を見てきれいに並べている様子や歯のみがき方順番表を見て丁寧にみがこうと意識している姿も見られた。
- ・指導後時間が経つと、継続する意識が薄れてくるので、子どもの様子を見ながら担任と連携し、個別指導や再度全体指導を行った。
- ・家庭と園が連携して継続した指導ができるように、「歯みがき順番表」を配布したことで「家でも順番表を見ながら毎日自分で歯をみがくようになりました」と保護者からの声もあった。
- ・指導内容をその時々の子どものたちの生活と結びつけられるように、導入を工夫したことで、子どもが興味をもって取り組むようになった。
- ・降園連絡やホームページを利用し、保健の取り組みを保護者に伝えた。各学期末には、今までの保健指導の様子を書いた手紙を配付した。長期休業中は、保護者と共に取り組めるよう「せいかつしゅうかんやくそくひょう」を配付し、家庭でも基本的な生活習慣を継続できるようにした。

#### 次年度の改善点

##### 取組内容①について

- ・子どもの実態を把握し、見通しをもった保育をするとともに、ホームページやクラスだよりなどを活用して、日々の保育の様子や幼稚園の取組を積極的に発信する。

##### 取組内容②について

- ・教師間で子どもの姿や保育の様子など、気づいたことを共有し、実態を把握するようにする。その都度、保育内容や環境を見直し、子どもたちの興味、関心にそった保育を展開できるようにする。
- ・週案の振り返りをより具体的に記録し、個々の表現の変化や課題を明確にしたうえで次週の活動へ確実に反映させる。また、子どもが表現方法を選択・試行錯誤できる時間と素材の幅をさらに広げ、継続的な見直しを行う。

##### 取組内容③について

- ・次年度も継続して基本的な生活習慣を身につけるための指導を工夫する。
- ・保健についての取組をよりわかりやすく掲示するなど保護者啓発を充実させる。

大阪市立墨江幼稚園 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>学校の年度目標</b></p> <p><b>基本的な方向6（教育DXの推進）</b>                      ○令和7年度末の本園保護者アンケート調査で、「子どもは、様々なことに興味や関心をもつようになった」という項目において、肯定的な回答をする割合を90%以上にする。</p> <p><b>基本的な方向7（人材の確保・育成としなやかな組織づくり）</b>                      ○令和7年度末の教職員アンケート調査で、「キャリアステージに応じた研修に参加し、保育に生かすことができた」という項目において、肯定的に回答する教職員の割合を令和6年度よりもポイントを増加させる。</p> <p><b>基本的な方向8（生涯学習の支援）</b>                      ○令和7年度末の本園保護者アンケート調査で、「子どもは、絵本に興味や関心をもつようになった」という項目において、肯定的な回答をする割合を90%以上にする。</p> <p><b>基本的な方向9（家庭・地域等と連携・協働した教育の推進）</b>                      ○令和7年度の本園保護者アンケート調査で、「幼稚園では、家庭や地域との連携を積極的にやっている」という項目において、肯定的な回答をする割合を90%以上にする。</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p><b>取組内容①【教育DXの推進】</b>                      教師が教材・機器の使い方を学び、教材研究を行う。</p> <p>指標・学期に1回以上、視聴覚教材を保育に取り入れる。</p>	A
<p><b>取組内容②【人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</b>                      子どもが生き生きと園生活を過ごせるように、保育内容や環境を工夫する。</p> <p>指標・園内研修会を年4回以上行い、互いに学び合う。</p>	A
<p><b>取組内容③【生涯学習の支援】</b>                      豊かな感性を育めるよう、子どもたちが絵本やお話に親しむ機会をもつ。</p> <p>指標・絵本やお話に親しめる環境を整え、充実を図る。                      ・絵本コーナーの充実を図り、学期に1回以上見直す。                      ・学期に1回以上、住吉図書館や小学校図書館を利用する。</p>	B
<p><b>取組内容④【家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】</b>                      地域やいろいろな人との関わりをもち、開かれた幼稚園運営を行う。</p> <p>指標・地域の行事に参加したり、いろいろな人と関わったりする機会を年5回以上もつ                      ・幼稚園の活動を紹介する内容を工夫する</p>	A

## 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

### 取組内容①について

◎令和7年度末の本園保護者アンケート調査で「子どもは、様々なことに興味や関心をもつようになった」という項目において、肯定的な回答をする割合は97%となり、中期目標及び年度目標を達成できた。

- ・Bluetoothのスピーカーを活用し、子どもの興味関心に合わせた音楽を即時再生できる環境を整えた。音楽に合わせて歌ったり、体操をしたり、リズム遊びや手遊びなどを取り入れることで、子どもたちがいろいろな音楽に親しみ、楽しめるよう努めた。
- ・タブレットを活用し、子どもが疑問に思ったことや興味をもったテーマについて、その場やクラス活動の時間に教師が調べ、子どもたちと共有した。視覚からの情報で理解を深めながら探求心を育むことにつなげた。
- ・行事の様子を記録し振り返りに活用するとともに、自然の事象や動植物の様子、鳴き声、動きなど、視聴覚教材を学期に1回以上取り入れ、子どもの興味や理解を深めた。
- ・5歳児は、遊びの中でOHPを常設し自由に試す経験を重ねたことで、扱い方や効果への気づきが生まれた。その学びを劇遊びに取り入れ、OHPを活用したことで、場面を効果的に表現することができ、表現の幅を広げる手段として活用する経験となった。

### 取組内容②について

◎令和7年度末の教職員アンケート調査で、「キャリアステージに応じた研修に参加し、保育に生かすことができた」という項目において、肯定的に回答する教職員の割合は令和6年度より増加した。

- ・全園児で律動をする時間をつくり、教師同士で互いに指導方法を見合った。子どもたちと体を動かしながら実践することで、より理解を深められた。
- ・園内研修については、特別支援教育園内委員会を年間7回、巡回支援を2回実施した。巡回相談、支援学校の先生による地域支援、専門家の先生による来園指導などの機会を通して、実際の子どもの姿から、個々に応じた支援の手立てについて助言を受けた。それらの指導助言を活かし、その時々での成長や課題を振り返りながら、適切な指導や支援に向けて園全体で取り組んだ。
- ・新任教諭が、月1回指導案に基づいて保育をし、指導担当からの助言を受けた。保育中や、その後の振り返りで指導を受け、指導内容や学びを職員間でも情報共有し実践的な学びにつなげた。
- ・生活発表会前に各クラスで園内研究保育を実施した。教員間で意見交換し、多面的に保育を振り返ることで、より子どもたちが楽しめる劇遊びを再構成する研修となった。
- ・園長の過去の劇遊びの実践動画を職員で視聴し、子どもの遊ぶ姿や教師の関わり方を通して、劇遊びにおける指導方法について学んだ。
- ・技術面での園内研修会として、絵画指導について助言を受けながら、絵の具の溶き方や適切な濃度、使用する筆の選び方など、基本的な指導方法を学んだ。

### 取組内容③について

◎令和7年度末の本園保護者アンケート調査で「子どもは、絵本に興味や関心をもつようになった」という項目において、肯定的な回答をする割合は87%だった。絵本への興味・関心は個人差が大きく、家庭と幼稚園とで姿が異なる。幼稚園では、様々な絵本に触れ、多くの子どもが読み聞かせを楽しむ姿が見られたので、目標の90%を下回ったが、概ね中期目標及び年度目標を達成できたと考える。

- ・絵本コーナーを設け、月ごとに子どもの興味や発達段階に合ったもの、季節を感じられるようなものを用意した。表紙の絵も見えるように整えたことで、興味をもった絵本を手に取り落ちて楽しむ姿が見られた。
- ・親子絵本貸し出しの日を設けた。保護者と子どもとで会話が生まれ、いつもとは違った絵本を選んだり、子どもや保護者が互いに相手の好みそうな絵本を選んだり、それぞれに親しむ絵本に広がりが見られた。中央図書館から借りた100冊絵本も選べるようにし、園にないいろいろな絵本にも親しんだ。
- ・古くなった絵本を買い替えたり、新しい絵本を購入したりした。今までになかったシリーズや、いろいろな発達段階にある子どもたちの興味に添った絵本を選び、環境の充実を図った。
- ・生活発表会に向けた保育の中で、複数の「不思議の国のアリス」の絵本に親しんだ。様々なアリスの世界にふれ、それぞれの表現の面白さに気づき、違いを感じとることができた。
- ・住吉図書館に出かけ、自分で絵本を借りる経験をした。実際に家庭から図書館に出かけて本を借りた、人気で順番待ちだった、など図書館を利用している声も聞かれた。
- ・住吉区絵本の会による「おはなしの会」で、いろいろな物語やお話、紙芝居、エプロンシアターなどに親しんだ。言葉の美しいリズムや響きにふれ、言葉に対する感覚を豊かにすることができた。

#### 取組内容④について

- ◎令和7年度末の本園保護者アンケート調査で「幼稚園では、家庭や地域との連携を積極的に行っている」という項目において、肯定的な回答をする割合は100%となり、中期目標及び年度目標を達成できた。
- ・ふれあいデー（園庭開放）を7回行った。子どもたちが、未就園児が来てくれることを楽しみにしながら準備をし、一緒に遊ぶことを楽しんだ。毎回子どもたちが歌や手遊びを披露し、幼稚園の雰囲気を感じてもらえるようにした。
- ・今年度初めて、ふじだな夏まつりを未就園児向けに行った。5歳児がお店屋さんになり、いろいろな遊びを楽しめるよう計画した。5歳児の優しいかかわりや温かい雰囲気の中で、未就園児もその保護者もゆっくりと楽しむ姿が見られた。
- ・運動会には昨年より多くの未就園児が参加した。ゴールで5歳児がお土産を渡し、少しの間だったが園児とふれ合える機会となり、参加者もとても喜んでいて。
- ・6月の墨江小学校との合同避難訓練では、6年生に手をつないでもらい、校舎の4階まで避難した。終了後には教室の椅子に座らせてもらったり、避難訓練のクイズをしてもらったりして、束の間の交流ができ、小学生に優しくしてもらったことを喜んでいて。
- ・墨江小学校との交流を、2、3学期に5回行った。5年生（泥団子づくり、凧揚げ、理科室体験）、6年生（読み聞かせ）、1年生（給食参観）との交流を通して、小学生に優しくしてもらい、小学校の雰囲気を味わったことで、小学校への親しみの気持ちや就学への期待が大きくなった。
- ・墨江丘中学校の体育大会でかけっこをさせてもらった。また、手作りの日めくりカレンダーを5歳児が届けに行くと、温かく迎えてもらい、体育館で遊んだり、授業を見せてもらったりした。地域の学校とたくさん交流することで、より多くの方に見守ってもらえていると感じた。

- ・3学期に清水丘小学校1年生との交流をした。1年生が考えてくれた遊びを楽しみながら、一緒に集った地域の幼稚園、保育園の子どもたちを見て、小学校で会うかもしれないという期待をもつことができた。
- ・ふれあいデーのポスター制作では、幼稚園の雰囲気や特徴などが伝わるような写真を用いて、園庭開放の案内だけではなく、幼稚園についても知ってもらえるように工夫した。また、ホームページ、区民ギャラリーの掲示では、幼稚園の特色が伝わるように内容を工夫した。

#### 次年度の改善点

##### 取組内容①について

- ・保育を効率的に進めるためのアプリケーション等の学びを継続的に深めながら、教育DXのさらなる推進を図る。
- ・活動の中で自然に活用できる環境を整えるとともに、職員間で活用方法やねらいを共有し学びや表現を広げるためのICT活用を継続的に充実させていく。

##### 取組内容②について

- ・計画的に特別支援教育園内委員会や巡回指導、関連施設の見学を実施する。
- ・教員間で各自が受けた研修会等の情報共有を行い、保育や支援方法に活かしていく。
- ・長期の休みを利用して、研修会に参加し、保育実践や子ども理解について学びを深め、日々の保育に生かすことで、保育者の資質向上に努める。

##### 取組内容③について

- ・子どもの興味関心に沿った絵本や物語に親しめるよう保育室や絵本室、読書コーナーの環境づくり、見直しを行う。
- ・保護者も絵本に親しめるような活動の在り方や、園の取り組みを伝える方法を工夫する。
- ・地域や小学校の図書館を計画的に活用し、絵本やお話に親しめるようにしている。家庭でも活用するきっかけとなるよう啓発していく。

##### 取組内容④について

- ・地域の行事への参加や、近隣の学校園との交流を継続して行う。
- ・幼稚園の特色が伝わるように、ホームページの内容を工夫する。

令和7年度 学校関係者評価報告書

大阪市立墨江幼稚園 学校協議会

1 総括についての評価

本年度の幼稚園の自己評価結果について、運営に関する計画の取組内容・保護者アンケート結果においては、一つの項目を除いて「そう思う」「ややそう思う」が95%と高評価であり、肯定的な回答が目標を大きく上回っている。絵本の項目については個人差が大きく、取組がアンケート結果に反映されにくいいため、87%であれば概ね達成と考える。よって中期目標及び年度目標達成に向けた取組の進捗状況、達成状況は妥当である。自園の現状と課題を踏まえた保育内容や環境の工夫、丁寧な指導、保護者啓発など、丁寧な園運営が伺える。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：【安心・安全な教育の推進】

基本的な方向1（安全・安心な教育環境の実現）

○令和7年度末の本園保護者アンケート調査で「幼稚園では、安全に過ごすための環境構成や教育内容を工夫している」という項目において、肯定的な回答をする割合を90%以上にする。

基本的な方向2（豊かな心の育成）

○令和7年度末の本園保護者アンケート調査で「幼稚園では、幼児一人一人の個性を大切に、互いを認め合える教育活動を実践している」という項目において、肯定的な回答をする割合を90%以上にする。

○達成状況の評価については妥当である。

- ・年10回の避難訓練は、「まさかの時」に役立つ有意義な取り組みだと感じた。特に無予告の訓練実施、幼小合同避難訓練は、実際の災害時のシミュレーションになると思う。

年度目標：【未来を切り拓く学力・体力の向上】

基本的な方向3（幼児教育の推進と質の向上）

○令和7年度末の本園保護者アンケート調査で「幼稚園では、友達と伝え合い、試したり工夫したりする楽しさを味わう中で、自ら考えようとする子どもを育むための指導を行っている」という項目において、肯定的な回答をする割合を90%以上にする。

基本的な方向4（誰一人取り残さない学力の向上）

○令和7年度末の本園保護者アンケート調査で「子どもは、いろいろな経験を通して、自分なりに表現することを楽しんでいる」という項目において、肯定的な回答をする割合を90%以上にする。

基本的な方向5（健やかな体の育成）

○令和7年度末の本園保護者アンケート調査で「幼稚園では、健康な生活習慣を身に付けるような指導を行っている」という項目において、肯定的な回答をする割合を90%以上にする。

○達成状況の評価については妥当である。

- ・保護者と教職員とで話しやすい雰囲気がとてもいい。園での子どもの様子や、幼稚園の取組、相談事など、気軽に話すことができるので、この雰囲気が続いてほしい。
- ・保健面では、子どもの興味や意欲が湧くような工夫がされていて、高く評価する。

年度目標：【**学びを支える教育環境の充実**】

基本的な方向6（教育DXの推進）

○令和7年度末の本園保護者アンケート調査で「子どもは、様々なことに興味や関心をもつようになった」という項目において、肯定的な回答をする割合を90%以上にする。

基本的な方向7（人材の確保・育成としなやかな組織づくり）

○令和7年度末の教職員アンケート調査で、「キャリアステージに応じた研修に参加し、保育に生かすことができた」という項目において、肯定的に回答する教職員の割合を令和6年度よりもポイントを増加させる。

基本的な方向8（生涯学習の支援）

○令和7年度末の本園保護者アンケート調査で「子どもは、絵本に興味や関心をもつようになった」という項目において、肯定的な回答をする割合を90%以上にする。

基本的な方向9（家庭・地域等と連携・協働した教育の推進）

○令和7年度末の本園保護者アンケート調査で「幼稚園では、家庭や地域との連携を積極的に行っている」という項目において、肯定的な回答をする割合を90%以上にする。

○達成状況の評価については妥当である。

- ・教育DXの活用は、何にどうやって使うのかを考える力が必要。幼稚園では、機器を使いながら友達と意見交換をし、実体験をしながら気づく力、友達と一緒に考える力が育まれていると思う。
- ・絵本の取組に関しては、個人差が大きいため達成は難しいが、園内の絵本に留まらず、図書館の絵本の活用や新しい絵本を購入するなどの取組は、より多くの絵本に触れられる素晴らしい取組である。
- ・幼小交流をたくさんしたことで、不安な気持ちが和らぎ、就学を楽しみにするようになっていたので、今後も幼小連携により力を入れてもらいたい。

### 3 今後の学校園の運営についての意見

- ・今後も、実体験を通じた主体的で協働的な学びを大切にした教育活動を継続してもらいたい。また、地域の学校や保護者との連携を深め、幼稚園での取組や子どもの育ちをもっと発信されることを期待する。